

2026年9月

安全報告書 (2025年度分)



上飯田連絡線株式会社

はじめに

上飯田連絡線（名鉄小牧線味鋺駅～名古屋市営地下鉄上飯田線平安通駅）は、2003年3月27日の開業以来多くのお客さまにご利用いただいております、地域の重要な交通手段としての役割を担っております。

当社は、上飯田連絡線の鉄道資産を保有する第三種鉄道事業者として、「安全管理規程」を定め、営業運転等を担う第二種鉄道事業者（名古屋鉄道株式会社及び名古屋市交通局）と連携して輸送の安全確保に努めており、この報告書は、当社における輸送の安全を確保するための基本的な方針と、2025年度に講じた措置について、鉄道事業法に基づき「安全報告書」として公表するものです。

皆様方におかれましては、この報告書により当社の取り組みをご理解いただくとともに、今後の取り組みを一層充実させるため、ご意見、ご感想をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

上飯田連絡線株式会社

代表取締役社長 中川 喜仁

1 基本的な方針

(1) 安全基本方針

- ①一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- ⑥情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な改革に取り組むよう努めます。

この安全基本方針の趣旨を踏まえ、3項目に要約した安全方針を制定し、携行することにより、社員が常に安全最優先の意識を徹底するよう促し、安全確保の取り組みを推進しています。

(2) 安全目標

上飯田連絡線内における鉄道施設に起因する事故・輸送障害を発生させないことを安全目標とします。

(3) 安全重点施策

安全目標を達成するため、社員等の教育・訓練及び鉄道施設の改良等に第二種鉄道事業者と連携して取り組んでまいります。

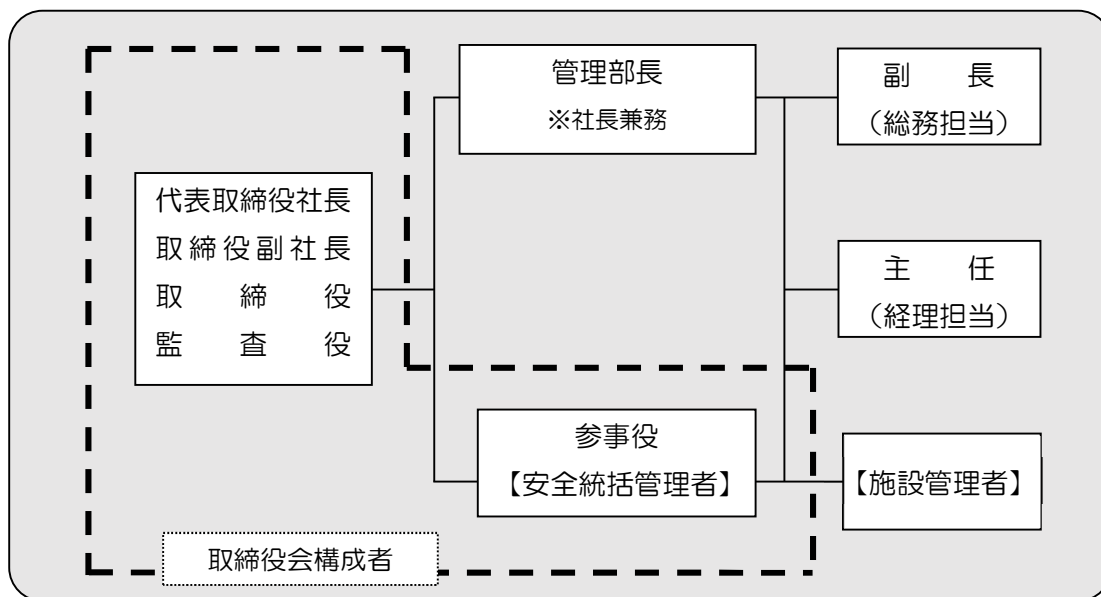
安全方針

- 1 安全最優先に努めます。
- 1 法令・規程を遵守し、職務を遂行します。
- 1 問題意識を持ち、改革に取り組みます。

上飯田連絡線株式会社代表取締役社長
中川 喜仁

2 安全管理体制と方法

(1) 安全管理体制



○各責任者の責務

社 長	-----	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	-----	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
管 理 部 長	-----	輸送の安全の確保に必要な投資、予算及び要員等に関する事項を統括する。
施 設 管 理 者	-----	鉄道施設に関する事項を統括する。

(2) 安全管理方法

- ①事故・災害等に備え、緊急時における連絡体制その他規程を定め、速やかに関係機関との連絡・連携ができるよう、連絡体制図を当社事務室の見やすい場所に掲示しております。
- ②第二種鉄道事業者との協定により、施設の保守管理及び事故・災害等の情報について随時報告を受けており、必要に応じ連携して対応しております。
- ③安全統括管理者及び社長・役員・社員は、適宜現場に赴き、輸送に係る業務の実施及び管理の状況を確認しております。

3 事故の状況等

当年度中において該当事項はありませんでした。

4 行政指導等

当年度中において該当事項はありませんでした。

5 安全確保等のための措置

安全管理体制の適切で円滑な運営及び安全に関する取り組みの継続的な改善のため、社内定例会議や研修の実施、中部運輸局及び第二種鉄道事業者等関係機関からの情報収集と社内周知、第二種鉄道事業者との合同会議や訓練等への参加等コミュニケーションを確保し、情報の共有及び問題解決に取り組んでいます。

(1) 社内の取り組み

① 社内定例会議

社長及び常勤役員を含む社員全員参加による定例会議を毎月実施し、情報共有を図るとともに、安全統括管理者による安全講話及び全員による安全方針の唱和を実施し、安全に対する意識の向上を図りました。

② 運輸安全マネジメント研修（8月21日, 11月7日）

社員の異動に伴い、鉄道事業者として求められる運輸安全マネジメントについて、これまでの取り組み等を説明するとともに味鋤・平安通間の上飯田連絡線の施設等の現地確認を実施しました。



② 運輸安全マネジメント研修（左：取り組み等説明、右：施設等現地確認）

③ マネジメントレビュー会議（12月25日）

安全統括管理者が安全管理体制の構築・改善状況を社長に報告し、社長より「今年は全国各地で、豪雨災害が発生し、三重県四日市市の地下駐車場では、車両冠水被害が発生した。12月には青森県で震度6強の地震が発生し、津波警報が発令されるとともに、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が初めて発出される等、自然災害が多い一年だった。鉄道事故については、10月に東急田園都市線での列車衝突事故があり、全国の鉄道事業者緊急点検の指示があった。引き続き第二種鉄道事業者と連携して、良好な安全管理体制を堅持すること。」との講評がありました。



③ マネジメントレビュー会議

（2）第二種鉄道事業者との連携

① 施設担当者会議（4月21日）

第二種鉄道事業者の施設担当部署との合同会議を開催し、上飯田連絡線の施設改良及び保守に係る新年度計画及び前年度実績の報告及び意見交換を実施しました。



① 施設担当者会議

② 鉄道テロ等対応訓練（9月29日）

名古屋鉄道株式会社が実施した鉄道テロ等対応訓練に参加しました。列車内で火災が発生したとの想定で、警察・消防への通報、避難誘導、消防による負傷者の救護・搬送等を実施しました。また、消防による「動画による119番通報システム」が紹介されました。



② 鉄道テロ等対応訓練

③ 小牧線・上飯田線指令式施行訓練（10月1日）

味鋤駅・平安通駅間において、車内信号機の車上装置が故障した場合で運転指令室長が認めた場合に施行する指令式の施行訓練を名古屋鉄道株式会社及び名古屋市交通局とともに実施しました。

④ 事故復旧総合訓練（10月17日）

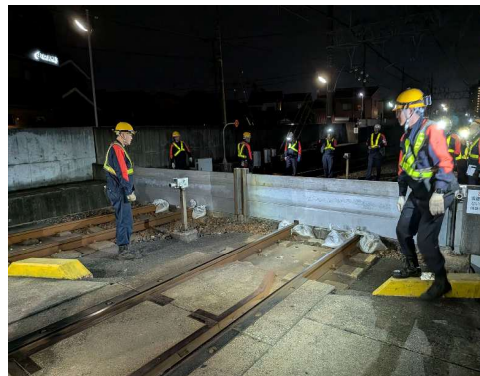
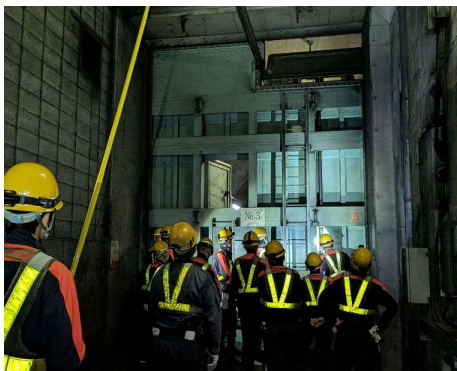
名古屋市交通局が実施した事故復旧総合訓練に参加しました。震度7の地震発生により列車が脱線したとの想定で、情報伝達訓練、乗客避難訓練、脱線列車復旧訓練、被災施設点検・復旧訓練等を実施しました。



④事故復旧総合訓練

⑤ 制水扉等操作訓練（10月28日終車後）

名古屋鉄道株式会社が実施した、味鋤・上飯田間に設置してある制水扉の操作訓練と止水壁の設置訓練に参加しました。



⑤制水扉等操作訓練（左：制水扉、右：止水壁）

⑥ 運輸安全マネジメント担当国会議（12月9日）

第二種鉄道事業者の安全監理担当部署との合同会議を開催し、上飯田連絡線に係る安全報告書に関する報告及び各事業者の運輸安全マネジメントに関する取り組み等に関する意見交換を実施しました。



⑥運輸安全マネジメント担当国会議

⑦ 名古屋市交通局藤が丘工場及び研修施設の視察（2月19日）

名古屋市交通局における東山線車両の検査修繕等に係る安全確保に関する取り組みに関し説明を受けた後、工場内及び研修施設を視察しました。



⑦藤が丘工場研修施設の視察

6 輸送の安全に関する内部監査

11月20日、経営管理部門を対象に内部監査を実施し、指摘、指導事項は、ありませんでした。



輸送の安全に関する内部監査

7 連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

連絡先：電話 052-746-9777・FAX 052-746-9778、電子メール kami-iida@iris.ocn.ne.jp



■上飯田連絡線のシンボルマークコンセプト

尾張北部地域のイメージカラーとした“緑”と名古屋都心のイメージカラーとした“青”を2つの円で表し、また、これを結ぶ2本の線は、名鉄と地下鉄の相互直通運転による地域の発展への貢献と上飯田連絡線をご利用されるお客様へのサービス向上を表しています。